

全港湾第39回中央委員会開催 18春闘方針確立、定年延長の前進に意欲



東京都大田区蒲田
5の10の2
全日本港湾労働組合機関紙
(毎月1日発行)
一部20円(組合員の購読料は組合費の中に含む)
発行責任者
真島勝重



一月二十二日から二十三日の日程で全港湾の第三十九回中央委員会を開催した。総勢一五五名が参加し、議長団に北海道地方の秋山光明中央委員、東北地方の鈴木紀彦中央委員を選出、熱心な議論をおこなった。

開会にあたり、松本中央執行委員長は「現在、盛んに人手不足ということが報じられている。昔前であれば、すぐに待遇改善で人が集まってきた。しかし、今は違う。人手不足になると、規制緩和して新規参入させればよいとなり、競争で労働条件がどんどん下げられていく。そして、待遇が悪くなり更に人が来なくなる」と悪循環に陥っている。この悪循環を変えてい

る。この悪循環を変えてい... 執行委員長からは、「独禁法問題だが、このほど公正取引委... 来賓の全国港湾・糸谷中央執行委員長からは、「独禁法問題だが、このほど公正取引委... 感をお願ひします。寺島：ほっと一安心しました。その後、段々うれしさがこみ上げてきました。ホッケーを始めたきっかけは何ですか。寺島：始めたのは小学校一年生の時です。きっかけは兄がやっていたからです。実は兄弟全員が一度はホッケーを経験しています。



前回のソチ五輪の時はケガで惜しくも代表を外れてしまったことになりました。テレビの前で試合を観戦して、応援していた時の率直な気持ちを教えてもらえますか。寺島：もちろん、代表選考時にはライバルとして競い合ったメンバーですから純粋に頑張っ



オリンピック出場を決めた寺島奈緒選手(右)

ホッケーは体の接触が多いスポーツですが、外国選手と当たるとに恐怖は感じませ... 寺島：小さいころから、続けているので接触自体に恐怖は感じません。ただし、接触した時に体に相手から無理な力が加かって、ケガをしてしまうことの方が怖いんです。実際、ソチの時にケガをしたのも、同じ様な状況でした。試合に臨むにあたって、日本が勝つために必要なものは何だと思えますか。また、自分のアピールできるポイントは何でしょうか。寺島：外国選手に比べて日本選手はやはりサイズもパワーも見劣りする部分があるので、細かいパスや全員で攻守を行う、いわゆるチーム力を必要だと思えます。私も小柄ですが、だからこそ狭いスペースで相手とぶつかる技術や身体の使い方、守りにおいても体を使って相手のシュートを防ぐことでチームが盛り上がるので、全力でプレーして、いい雰囲気を持ってこれたらと思います。最後に、意気込みをお願いします。北海道地本書記次長 伊藤勇武

寺島奈緒さん 平昌五輪出場

北海道地方三ツ輪分会の寺島奈緒組合員が二月九日から韓国で開催される冬季平昌五輪にアイスホッケーの選手として出場することになりました。五輪出場にあたり北海道地本が寺島選手にインタビューをおこないましたのでここに掲載します。五輪出場の快挙を祝福するとともに、皆で声援を送っていきましょう。寺島：自分不完全燃焼で選考で、正直言ってどこか上の空から外れてしまっていたのという気持ちがありました。

ソチ以降から平昌までどういった気持ちやモチベーションで臨んできましたか。寺島：ソチ直後はショックが非常に大きくて、このままホッケーを続けるべきか否か悩みました。しかし、「仕事とホッケーの両立で五輪の代表を掴む」ことが当初からの目標でもありましたし、ソチから平昌まで四年間という期間もあつたので自分自身と改めて向き合い、考え直した結果もう一度挑戦しようという決意しました。普段車で行くような所を歩いて考える時間を作り、お寺巡りなどをして、とにかくリフレッシュに努めました。

得ることができた。産別統一交渉を発展的に継続させていきたい」と独禁法問題に進展

松本委員長は「国会がいよいよ開会となった。安倍首相

は所信表明演説の中で、働き方改革を進める等と言っているが、労働環境を悪くしてきたのは与党自民党であり安倍首相ではないか。憲法改悪、労働法改悪を阻止し、憲法を変えさせない取り組みを強化していく必要がある。今年、沖縄では基地問題を争点とした選挙戦が続いていく。全港湾としてもオール沖縄と共闘していきたい。脱原発の取り組みについても、我々が丸



秋山光明中央委員(左) 鈴木紀彦中央委員(右)

となつて運動を支え取り組んでいきたい。そして、独禁法問題を乗り越え、統一要求額二万円の獲得、六五歳までの定年延長獲得に向け、全港湾一致団結してたたかっている」と呼びかけた。この総括を受け、二〇一八年春闘方針案(文言を一部修正の上)を満場一致で可決した。全港湾統一要求のまとめ一八春闘の全港湾統一要求は、賃金引き上げ基本給一律

(片柳悦正)

